

寺報二十三号をおとどけします。

今年の報恩講は二日間にわたって行われます。十月十四日（土）と十五日（日）です。なぜ？と不思議に思われるかもしれませんが、実は法要は二日間にわたって行われる方が正式なスタイルです。例えばお葬儀も、通夜葬儀と二日間行われますよね。

そもそも法要とは、仏さまのお話を聞くことが儀式化されたものです。そこで夕（速夜たいや）・朝（晨朝じんじょう）・午後（日中につちゅう）とお話を聞くのが、インドの昔よりつたわっている仏教徒の聞法スタイルになります。お釈迦さまは、午後に集まった聴衆にお話をします。聞法した仏弟子は、夜寝る前に今日伺ったお話を忘れていないか仲間と暗唱して忘れていないか間違っていないか確認したそうです。これがまず夕の「速夜法要」になります。

確認が終わると安心して就寝します。

翌朝目覚めた後、寝ている間に忘れてしまったところがないかまた仲間と確認いたします。これが朝の「晨朝法要」になります。

そこで安心して托鉢たくはつに出かけ午前中に食事をすませ、午後にはまたお釈迦さまのお話を伺うのです。これが午後の「日中法要」です。一番大事な法要ですので、「満座法要」とも申します。これらを合わせて、「一昼夜法要」と申します。お葬儀も、これらのやり方と同じく通夜葬儀と二日間にわたって勤まるのです。

今までの報恩講では、この「満座法要」のみご門徒の皆さまにご案内しておりました。「お速夜」と「晨朝法要」は寺内で済ませておりましたが、昨年来ご講師でいらっしゃる佐野明弘たけや師から「お速夜」にもご法話をいただけるとおっしゃって頂けました。そこで今年からは、「お速夜法要」とご法話を皆さまにご案内いたします。



昨年度の報恩講・御伝鈔拝読の様子

さらに報恩講の「お速夜」の後は、「御伝鈔拝読」と申しまして、親鸞聖人の一生をまとめたものを真っ暗な本堂でロウソクの明かりのみで拝読する行事もごさいます。本山でも十一月二十五日の夕方に行われますが、正徳寺でも勤まりますので是非ご参詣ください。詳細につきましては、例年通り十月の上旬にご案内いたします。楽しみにご参詣いただけたらと思います。

## 寺の古い蔵書を整理中です

先だって、正徳寺の経蔵に収まっている書物を品川区品川歴史館の皆さまに分類整理していただきました。

慶応2年の火事でほとんどの資料は焼けてしまっているのですが、幕末からの貴重な資料も出てきました。

慶応3年に幕府老中と駐日外国公使が兵庫港開港について交渉したのもや、明治維新の前に幕府内の改革を進めるための上申書などです。これらの資料は神戸市立博物館から展示依頼があり、現在「神戸開港150年記念特別展 開国への潮流」(8月5日～9月24日)に展示されています。

そのような資料が寺にあるとは知らず驚きましたが、当寺の二十三代住職である平松理準は幕末から明治への変革期に討幕派として活動した人で、明治政府ともつながりがあつ

たようです。泉岳寺の赤穂浪士木像保存にも一端を担ったと伝わっています。そのような経緯からこれらの資料がお寺にあったのかもしれません。

この二十三代理準については逸話を残した人です。で、また何かの機会に皆様にもお話しできればと思っております。

## ラジオ出演

先日七月二十八日にレインボータウンFM放送クリスタルイズムの1コーナーにゲストとして呼びいただき、出演して参りました。初の体験で大変緊張しましたが、当寺活動のことも囲碁の経験などをお話しさせていただきました。こども囲碁は今年で5年目です。気軽にのぞいていただければと思います。

★お彼岸 九月二十日(水)～二十六日(火)

★報恩講 十月十四日(土) 十五日(日) 十月初旬に改めてご案内をします。

★インターネットでも、不定期に行事やイベントの予定をお伝えしています。

・住職ツイッター @syaku\_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせください。

とくに土曜日・日曜日などは混み合いますので、お早めにご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、日程が決まる前にお寺にご連絡ください。

他の方のお約束が入っており、先に決められた日程ではお受けできない場合がございます。よろしく願いいたします。

★声明会 (お経の練習会)

毎月最終土曜日 午後三時～四時半

要予約 (急な法務等で変更あり)

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派勤行集」(赤本)

450円

次回は 九月 三十日(土)

十月 二十八日(土) 茶話会

十一月 二十五日(土)

ご参加される方は、前もってご連絡ください。

電話 03 (3471) 3938

[shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp](mailto:shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp)

■ 当寺の宗旨は 真宗大谷派です。

■ ご本尊は 阿弥陀如来です。

■ 宗祖は 親鸞聖人です。

■ 京都駅前通りの烏丸七条にある

真宗本廟 (東本願寺) を本山とします。

■ 教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。